



ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2640



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに

## CONTENTS



2008-09 年度 R I 会長  
李東建



ガバナー 勝野 露観

1. ガバナーメッセージ	1~4
2. ロータリー財団月間によせて	5
3. 財団奨学事業について	6~7
4. 財団の活動	8
5. 委員会活動	9~11
6. 新入会員紹介	12
7. 訃報	13
8. ポールハリスフェロー・米山功労者（9月分）	14
9. ハイライトよねやま	15
10. ロータリー文庫	16
11. 出席報告（9月分）	17
12. 11月行事予定表	18

11月はロータリー財団月間  
(The Rotary Foundation Month)

2008-2009

11

NO.5



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

# ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 勝野 露観

各クラブの会長・幹事様並びにロータリアンの皆様、如何にお過ごしのことでしょうか！？  
皆様のロータリー年度も4ヶ月を過ぎて、5ヶ月目に入りました。私のガバナー公式訪問もいよいよ最終段階に差掛かりまして、あと数回を残すばかりであります。月信の紙面を借りまして、皆様に御礼を申し上げます。公式訪問の際にはお世話戴いたクラブの会長・幹事さん、並びにクラブメンバーの方々に並々ならぬ御苦勞をおかけ致しました。まことに有難うございました。公式訪問をさせて頂きまして、皆様のクラブの現状を良く理解できました。又た皆様方の自クラブを良くしたいと云う熱意を身にしみて感じた次第です。更に我が2640地区には多山素晴らしいロータリアンがおられる事を身をもって深く認識致しました。さすがにロータリーだ！と云う感を強くしました。これらの素晴らしい魅力ある方々にご縁を戴いた事を、公式訪問に於ける最高の収穫であると心より喜んでおります。又た、懇親会、二次会に於るクラブメンバーの方々との様々の語り合いを通して、クラブの一人一人のロータリアンが「今のロータリーをどう考えておるか？」「これからのロータリーはどうあって欲しい！？」のかと云う素直な意見を沢山聞く事ができ、私のガバナーとしての方針の正しさを再認識致した次第であります。今日本のロータリーは大きな転換期に差し掛かっております。と云いますのは、日本は今、大変な状況下にありまして、経済的にも(更に言いますと、政治的にも)従来手法、方策では現在の混迷より脱する事が不可能となっております。強力なリーダーシップが各界に於いて要求されています。このような日本のおかれておる環境下に在って「日本のロータリーは、どのような夢と理想をもって進めば良いのか」が問われておるのです。こう云うテーマをもって、公式訪問の際に、皆様方に話をさせて頂きました。

## ◎ [会員増強について]

この問題は今、各ロータリークラブに於いて、重点強調事項になっています。この件について様々と質問を受けましたが、会員増強の近道はありません。結局は『魅力あるクラブ』『魅力ある組織』にする以外に方策は無いのです。

＝魅力ある組織＝ (夢と希望と憧れのある組織) とは

1. 質の高い、魅力的な会員がおる事！
2. その組織に属するメンバーが、その組織に属する事によって、大きな夢と希望を

獲得出来る可能性が非常に高い事！

(入会した会員がロータリーから人生に於る幸福と成功のヒントを獲得できる!)

3. その組織の理念がハイレベルである事！

人々の幸福と成功を目的としている。

4. その活動が活発であって生々としておる

であります。

我々のロータリーは実に素晴らしい理念と行動をもっておるのですが、その理念を理解していないロータリアンが非常に多い。自分の属する組織の素晴らしさを理解できずにおる事は実に悲しい事です。しっかりとロータリーを学んでいただきたいのであります。

さて、本月は財団月間です。

ロータリー財団の使命 (The Mission of the Foundation)

ロータリー財団の使命は地区レベル、国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流、プログラムを通じて「ロータリーの綱領」と「ロータリーの使命」を遂行し、且つ世界理解の平和を達成しようとするR I (国際ロータリー)の努力を支援する事です。

具体的に言うと

- ①ポリオ・プラス・プログラムを完遂する事で、ポリオ撲滅の目標を達成すること
- ②友好と国家間の相互理解を助言するような教育的、文化的プログラムを強調し充実させること
- ③世界のあらゆる地域において、人道的ニーズを満たす補助金を支給すること
- ④世界の人々の間の平和な関係を深める為にプログラムを拡大すること

以上の4つのターゲットを持って財団は行動しているのです。

この4つのターゲットを達成する為に、様々のプログラムをロータリーは用意しております。地域に於いては『財団関連の委員会がそのプログラムにのっとり、活動を致しております。ぜひとも皆様のご協力とご支援をお願い致します。』財団部門は大ベテランの岩本行弘(カウンセラー補佐)が取り仕切られております。①のポリオ撲滅の為にキャンペーンとして、ビル・ゲイツ財団がロータリー財団の呼びかけに応じていただき約100億円寄付して下さいます。2010年12月までにロータリーが1億ドル(約100億円)を用意する事ができたらビル・ゲイツ財団は同額の1億ドルを寄付して下さいます。よって、ロータリーも3年間かけて同額を準備する事になりました。どうか各クラブの皆様の協力を頂き、ご協賛下さるようお願い致します。『ポリオ撲滅運動は1985年に始まりました。2005年のロータリーの100周年までに達成しようとして努力して来ましたが、現在まだ年間1,000件余り発生しています。しかし当初、年間30万件の発生がありそれから考えますとかなり成果が上がっています。ここで止

めますと瞬く間にもとの発生件数に戻ってしまいます。当地区としましては3年かけて完了したいという事で、皆様から一人当たり30ドルの御寄付を考えていますので、どうか御協力をお願いします。』(中島治一郎 財団カウンセラー)と中島パストガバナーが地区協議会に於ける部門別協議会(ロータリー財団部門)でお話をされました。これはR I(国際ロータリー)本部よりの特別要請でありまして、世界中のロータリアンに向けて発信されたものです。我が2640地区としても、R Iよりの要請を受けて実行しなければなりません。

財団関連プロジェクトに様々にあり、それぞれが実に素晴らしいものがありますが「財団の国際親善奨学生のための奨学金制度」は感動を伴う実に有意義なものです。日本を離れ海外に行き大学に留学してきた若者達の帰国報告を聞きますと、感動して思わず涙が出てまいります。彼らを組織して「財団学友」があるのですが、川端健夫委員長が頑張ってくれております。財団学友はロータリー財団の財産であり、ロータリーの財産です。IMやクラブの卓話に彼らを招いていただきたくお願い致します。 又た、吉野惣太財団奨学委員長は情熱あふれるロータリアンでありまして、深い見識のある紳士であります。GSE(研究グループ)は次年度に実行されます。本年度はGSE委員長により周到な準備をしております。

若い学生、青年が海外に出て、今まで体験した事の無い生活を体験するわけです。家におる時は、それこそ親がかりでありまして、知らず知らずの内に「甘えの習慣」が身にしみてしまっております。それが海外に出ると、その甘えが通用しなくなり、何事でも自分一人でやらなければならなくなります。先ず、彼らの心の中に『感謝の念』が生まれてくるのです。両親に対する感謝、ロータリーに対する感謝、仲間に対する感謝を彼等は口々に語るのです。この『感謝の思い』を、人間としてこの世の中に生きて行く上に於いて最も大切な思いを、彼等はロータリーによって手に入れたのです。そして一年間の生活によって「逞しさ」を身につけてきます。彼等は能力ある若者です。ロータリーの宝であります。ロータリーらしい素晴らしい財団のプロジェクトであります。ぜひとも彼らの姿を見てやって欲しいのです。卓話に招いてやって下さい！

## 地区大会 開催

平成21年4月25日(土)26日(日)

於 堺リーガロイヤルホテル

地区大会は『ロータリアンとの縁結びと交流』『感銘深い講演』と地区内クラブやR I全般に関する問題の討議によって、ロータリーの綱領を推す事です。又た地区大会はロータリーの様々のプログラムや地区及びクラブの成功した活動を発信する場でもあります。又た大会でクラブ同士が交流し、対話するチャンスがある可きです。かつ親睦の雰囲気の中に、ロータリーの意気を高めるような形で開催される。』事を目的として開催される地域最大のセレモニーです。私は地区大会は、IMの総決算の場であり、一年間の総決算の場であると思っております。従

来の様な地区大会ではなく、「地区手づくりの大会」をしたいと考えております。最近の如き、経済的不景気の中に在って、豪華なロータリーらしい華を取り入れつつ、経費を出来る限り制限し、アイデアをもって手づくりの大会を挙行したい。実を言いますと我が地区は会員メンバーの減少によりまして、地区に入って来る金銭が非常に少なくなっており、地区運営に窮しておる状況です。皆さんからお預かりした大切な公金でありますので、価値のある有益なプログラムに使わせて頂きたいのです。正直言って地区予算は限界ラインに来ており、赤信号が点滅しております。地区大会にまわせる余剰金はありません。

本年度の地区大会のテーマは

ロータリーの魅力を取り戻す為に『ロータリーの原点に戻ろう！』

一志は高く、心は集う— と云う大会テーマをもって開催いたします。

このテーマは本年度の地区テーマであり、最大強調事項です。その集大成を地区大会で花開かせたいと思っております。ぜひとも 2640 地区全員のロータリアンの全員のご参加をお願いする次第であります。目下地区大会に向けてホストを務める和泉RCの担当委員会が全力を傾けて準備をしている最中であります。



## ロータリー財団月間に因んで



地区ロータリー財団カウンセラー 中島 治一郎

私達の2640地区における皆さんのロータリー財団活用の仕方は、日本のロータリーにおける模範であると思っております。

ロータリー財団は、私達の奉仕活動の為のツール（道具）として、私達が設営している私達のものであります。世の中を少しでも住み良い所にする為に私達ロータリアンが用意したプログラムを活用し、感動を得て報われると言う仕組みになっている訳です。人道的なプログラムや、教育的なプログラムが種々準備されています。

人道的なプログラムとしては、代表的なものに『ポリオ・プラス・プログラム』があります。1985年からスタートしているポリオ撲滅運動であります。このプログラムを可能ならしめる為に、当地区の殆ど全てのロータリアンも、支援金を出し合って参りました。又、発展途上国のポリオ発生地域へワクチン供与にも参加致しました。過去20数年掛けて、国連のWHO、UNICEF、米国保険機構のCDCとロータリーが力を合わせて運動を推進し、スタート当時には一年に30万人以上の子供がポリオの犠牲になっていた状態から、今や世界の4カ国で1千人余りの罹病者を出すレベルまで減らして参りました。『ポリオ発生ゼロ』を目指して強力に運動が進められています。ベストを尽くして発生ゼロに持ち込もうではありませんか。

飢餓、飲み水不足、疾病、紛争、等々人道的なニーズは想像を絶する程存在します。人道的奉仕を増進するための補助金を種々用意し、支援体制をとっています。私達の財団への寄付の少なくとも約半分は、人道的ニーズを満たすために遣われています。

教育的プログラムは、特にロータリーにとっては不可欠の道具であります。人道的なニーズを発生させないようにする環境を整備するには教育が肝心です。

2640地区では、プログラム活用面での実績も立派ですが、プログラム実施に不可欠な資金提供、要するに財団への寄付のレベルが高いのです。この地区は、『ロータリー財団寄付増進委員会』を設置していない恐らく唯一の地区だと思えます。自分達の為に自分達が運営しているロータリー財団の資金的支援を行うのに、プッシュされてではなく、自主的に行うのは当然のことだと思えます。しかも、その結果、常に日本の34地区の中で、一人当たり寄付額が、上位にあると言うのは誇らしいことだと思えます。

引き続き、私達のロータリー財団への心の籠ったご支援をお願い致します。

## ロータリー財団親善奨学生



財団奨学金小委員会委員長 吉野 惣太

初めてのロータリー財団親善奨学生は18名で1948年です、

その原資は1947年1月27日ポール・ハリスの他界を知らせる、地区役員と国際役員への下記電文に始まります。

PAUL HARRIS DIED TODAY STOP AM NOTIFIYING ALL GOVERNORS AND REGIONAL OFFICERS OF DEATH AND PAUL'S SPECIFIC REQUEST TO OMIT FLOWERS AND INSTEAD MAKE CONTRIBUTIONS TO ROTARY FOUNDATION FOR PAUL HARRIS MEMORIAL STOP FUNERAL THURSDAY STOP(一部意識、故ポール・ハリスの特別なリクエストをお伝えいたします。献花をしないでください、その代わりに財団への寄付をお願いいたします)と打電されたことによります。

アーチ・クランプ元RI会長のロータリー基金(財団の前身)のアイデアがRI理事会で1917年(ロシヤ革命の年)承認されてから最初の奨学生を送り出す原資を得るまで30年、と言うより、ポール・ハリス他界の代わりとして、命を与えられたかのように財団が動き出したこととなります。奨学生達一人一人が他の国のロータリアン達や土地の人々と交わり親善大使として国際理解を深めてゆく機会を提供することが世界の良き未来に繋がるとゆうロータリーの長年の願いが実現したわけです。

懐疑的な見方の人々は「ロータリーが平和のための真の力となれようか、だって司法権も無ければ、宗教でもない、軍隊も戦車も無く、非政治的態度を固守している。」と考えています、この見解は、平和を命令や軍事力で強制できたり、国々政府のみの責任との考えからです。

ロータリーはこの問題に対し、長年に渡り人類が互いを非難しあう原因となる障壁をコツコツと地道に取り払うことに努め続けてまいりました。人々の見方を理解しようと努めながら、人種、宗教、文化、の境界を越えて近づき、全人類に奉仕するパートナーになることで、緊張が緩和され友情が深まるわけで、親善奨学生制度はまさに其の為にあるわけです。

ロータリー財団奨学金の特徴は受入国にも顧問ロータリアンがいることで、受入国のロータリアンを通じて限られた留学期間内にかなり現地社会に深く入ってゆけることができ目的の親善が助長される

わけです、このことを、財団と他の金銭だけの奨学金の両方を経験した財団学友が「財団奨学生は奨学金の何倍ものものを与えてくれた」と表現していました。又本年カンサス市での地域財団奨学生オリエンテーションでアメリカの奨学生が財団奨学金を選んだ理由を同様に話しており、優れた制度となっています。

財団奨学金プログラムの一方の主役は奨学生です、理想の奨学生を見つけるのは困難ですが、これとは感じる、若者をご推薦いただければ幸いです、そのことにより彼らに成長の機会を、ロータリアンに奉仕の機会を、世界に相互理解をもたらすことに繋がるわけです。

応募方法は簡単です、ガバナー事務所(073-428-2640)山本までご連絡下さい、明瞭懇切に説明いたします。募集期間は2009年一月からで、クラブ締め切りは4月17日、地区への書類提出は5月8日です。

2640地区皆様からのご協力を頂いて次年度も良きロータリー財団親善奨学生を送り出せることを願います。



# ロータリー財団国際親善奨学金プログラム

財団カウンセラー補佐 岩本 行弘

平素はロータリー財団に格別なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

11月はロータリー財団月間です。「ロータリーの友」11月号には、ロータリー財団最新資料はじめ、関連記事が多く掲載されておりますので、是非目を通していただき、クラブで参考資料として活用されますことをお勧めいたします。

ここでは、ロータリー財団国際親善奨学金プログラムを取り上げてみたいと思います。当地区では、毎年多くの国際親善奨学生を海外に派遣しております。間もなく2010-2011年度の国際親善奨学生の募集を開始しますが、募集から留学するまでのプロセスをご説明いたします。まず、応募者はクラブ推薦を受けて申請書を提出し、地区選考試験を受けます。試験に合格した後、年5回のオリエンテーションでロータリーを学び、留学までの過程をしっかりと身につけます。申請書に志望する教育機関を5校記入し、ロータリー財団より1校指定されます。奨学生は指定された教育機関の入学許可を取得しなければなりません。入学許可を取得できない場合は、他の教育機関に再度挑戦できます。入学許可を得ると、渡航書類を全て揃えてロータリー財団に提出して、留学に向けて出発することになります。奨学生には、推薦クラブの顧問ロータリアンと、受入れするホスト・クラブの顧問ロータリアンがカウンセラーを務めます。このように、留学先でもロータリアンのカウンセラーがお世話しますので、とても安心して留学できるところに国際親善奨学金プログラムの特徴があります。

奨学金は、地区財団活動資金(DDF)から支給されます。奨学金には、①3ヶ月間または6ヶ月間文化研修のための奨学金 ②1学年度奨学金 ③マルチ・イヤー奨学金の3種類あります。文化研修の奨学生は、ホーム・ステイをしながら語学専門学校で外国語を学びます。1学年度とマルチ・イヤー奨学生は、大学または大学院で勉学や専門分野の研究をします。1学年度とマルチ・イヤー奨学金への応募者は、地区選考試験を合格しても、留学できるという保証はありません。応募者は自分の実力で留学先の教育機関から入学許可を得なければなりません。そこに外国語という大きな壁があります。授業を理解するには、相当な語学力を必要とするのです。語学力不足のために、留学を断念する人が最近目立ちます。その難関を乗り越えても、授業について行くのが大変であることを帰国報告会でよく聞きます。私達が想像する以上に、海外留学の難しさを窺い知ることが出来ます。その困難を克服して帰国した奨学生の成長振りに、私達は大きな感動を受けます。今後も海外留学を夢見ている若人に、Make Dreams Real を支援していただきますようお願い申し上げます。

# 地区内歴史探訪

## 国際ロータリー2640地区 米山奨学生との旅



友を見つける旅と位置づけされた奨学生達の研修旅行は地区内の探訪という方法で去る9月24・25日にかけて行われました。おそらく奨学生たちは今回が初めて顔を合わせる機会でもあり期待した一泊旅行でありました。JR日根野駅を起点に高野山・竜神・田辺経由で日根野に帰ってくる地区内の歴史探訪でした。諸般の

事情から参加出来なかった奨学生もおりましたがこれから社会貢献活動とか顔を合わせる機会を逃さないように友達を作るよう希望します。それから特別参加頂きましたカウンセラーの皆様、お疲れさまでございました。しかし学友達の姿を垣間見る機会に米山委員の活動もご理解いただけたものと思います。今後ともよろしくご支援のほどお願い致します。学友担当地区委員 河合利晴

高野山到着は大門、高野山ロータリーの中本会員が出迎えて下さり今日一日の高野山研修の始まりであります。大門から金堂・根本大堂と真言密教の世界に奨学生達は魅了されています、あの唐の都長安、今は西安に幾多の困難を越えて「留学」真言密教を待ちかえり広めた空海に繋がる悠久の歴史にしばし足をとめる。一の橋から奥の院に参詣する道すがら徳川家の墓地に興味津津、篤姫のドラマから歴史に引き込まれていくようです。中本会員の説明が素晴らしく、日本人ですら聞き入った。空海の入定には納得できず。ましてや生きたまま岩の祠に入れ今も生きていて朝夕食事を運んでいる説明には理解できていない。昼食は龍泉院、精進料理にも不思議が一杯、中国にも台湾にも精進料理はあるけれどどこかちがうのかな。高野山の総本山である金剛峯寺参詣、合理的なお寺の厨房の工夫に関心、楠バストガバナー、角浜会長のお見送りを受け秋一杯の龍神に向き下山。



### 参加奨学生



南 泰 旭  
大阪府立大学  
橋本RC



李 瑞  
大阪府立大学  
堺フェニックスRC



ラミチャネ、ランズ  
大阪観光大学  
松原RC



朴 宰 億  
大阪府立大学  
堺東RC



鄭 善 軍  
大阪府立大学  
和泉RC



姜 学 妍  
和歌山大学  
和歌山東南RC



石 迎 泰  
大阪府立大学  
岸和田北RC



孟 繁 阳  
ブール学院大学  
河内長野RC



朴 貞 子  
大阪府立大学  
岸和田RC



鄭 俊 偉  
朴 貞 子長男



帖 蕾  
和歌山大学  
粉河RC



高 淑 清  
和歌山大学  
和歌山中RC



崔 香 花  
和歌山大学  
和歌山北RC



梁 善 京  
大阪府立大学  
堺北RC



御坊RCのお出迎えを頂き久しぶりにご住職様も体調をもいとお喜び合撮にお入り頂きました。



龍神では季楽里一泊。静かな山間の雰囲気は安らぎと友情交換の場です。翌日は地場産業の見学。龍神森林組合の材木が市場に出てくるまでの手間と価値の安さ、奨学生たちは自国での事情と比べ盛んに質問してこの奨学生たちの物事にたいする積極性は日本の学生たちと全然違うことを感じました。帰りは娘道成寺参詣副住職さんの安珍、清姫の物語清姫の情熱に圧倒され今回の研修は終わりました。今回の計画は塩路委員のお世話で実現しましたありがとうございます。

参加委員 米田委員長・松下・橋爪・谷野・松岡・レポート西村・担当河合

◀ 国際ロータリー2640地区 米山記念奨学事業委員会 ▶

# 国際理解のためのワークショップ — 岬高校 —

## 国際ロータリー2640地区 米山記念奨学生社会貢献活動実施

第1日目 2008年10月2日 (木)



昨年度大好評で終わったこのプログラム、あまりの好評で今年も続行です。岬高校の要請に応え奨学生全員に参加を呼びかけました。第1日は府大、和、観光大の5名の奨学生が高校2年生を対象に3時間

受け持ち、自分の紹介、自分の祖国の紹介、生活圏の紹介、学校生活もそれぞれのお国柄が違う事がかえって高校生の趣味も呼び起こし、全員身を乗り出し、目を輝かせての授業でありました。終了後にはまた来て欲しいとうれしい注文も頂きながら終了しました。

学友担当地区委員 河合 利晴

### アジアの文化、留学生が授業 岬高



アジアの留学生が自国を紹介する授業が2日、府立岬高(岬町)で行われ、2年生の生徒64人が異国の文化や社会システムについて学んだ。

留学生は韓国、中国、ネパールから来日し、府立大学文学部や和歌山大学文学部などで学んでいる女子学生5人。

授業で、中国から数学(約5万円)であることなどを学ぶために留学中の崔香花や、「人っ子政策」を

紹介していた。

授業の途中に、貧富の格差が広がる中国のことを知ってか、生徒からは「社会主義市場経済に大きな矛盾も起きているのでは」「など」と鋭い質問も飛び出し、先生役の留学生が戸惑う場面もあった。

柳充彦君(17)は「知らないうちにも多く、とても勉強になりました。留学生たちにはまた来てほしい」と話していた。

10月3日産経新聞朝刊に掲載されました。(産経新聞おおさか(泉州)版掲載記事)



#### 崔香花 (和歌山北RC)

祖国での勉強の辛さ、でも希望を持って日本に来たこと、日本の生徒達の意欲欠如にも触れ、日本の学校生活の幸せを認識させていました。

#### 姜学妍 (和歌山東南RC)

物も言わない生徒達でした。経済のカードを引きました貧富の差について生徒の質問があり中国の現状について話をしました。食文化は中華料理と日本料理の違い。福原愛ちゃんの話、彼女は中国でコーチを受け日本代表として北京オリンピックに出場した。遼寧省では結婚式にも出席している写真も公開され日中の国際理解に貢献している。



#### 呉育羅 (海南東RC)

話題に出たのは中国の少数民族の事55族、56族目が朝鮮族で更に雲南省とチベットに住んで居ること。お茶の文化について、中国の基本国策、人口計画、中国の技術発達について、人工衛星「神舟7号」の成功について、中国の地理の説明、パンダについて、万里の長城、すべてパソコンにCDを入れて話したので生徒達はよく理解出来たと思います。



#### ラムチャネ、ランズ (松原RC)

高野山ロータリーの例会に卓話に行ってきました。ネパールの食事、カレーと御飯が有名、紅茶が有名な特産物である事。山の国ネパールの学生は勉強に力を入れている。生活は貧しいが国民は働きだし将来留学から帰国した学生たちはきっと祖国の発展に貢献するつもりです。



#### 梁善京 (堺北RC)

韓国の高校生について。アルバイトの問題ですが、学力維持が忙しくてそんな時間は無い。韓国の家はオンドルで暖かいが日本の家は寒い。首都はソウル。キムチはよく食べるのでみな肌がきれい。生活面が話題の中心になりました。



◀ 国際ロータリー2640地区 米山記念奨学事業委員会 ▶

# 国際理解のためのワークショップ 一岬高校一

## 国際ロータリー2640地区 米山記念奨学生社会貢献活動実施

第2日目 2008年10月9日(木)



奨学生のメンバーを入れ替えて第2日が始まりました。今回も2年生で1クラスを1時間づつ合計3時間の授業でした。学生達はそれぞれ好印象の感想を書いてくれましたが今回は特に地域の福祉協会や

学校評議員の方々の参観もありこの活動も生徒達は勿論、地域社会にも留学生の熱心な国際理解授業に好感を持ってもらい定着しそうになりました。11月は1年生達にもこの異文化学習が良い効果が得られます様頑張っしてほしいと思います。 学友担当地区委員 河合 利晴

### 陳曉薇 (堺東南RC)

台湾ならではの食文化についていろいろ話しました。そして世界一高いビルが台湾にあること

も生徒達に紹介しました。台湾と日本の文化と生活習慣の違いを中心にお互いに交流しました。台湾の写真と雑誌を見せながら説明したので、生徒達に台湾についてよく認識させることができましたと思いました。



### 郷善軍 (和泉RC)

みさき高校は美しい景色に恵まれ、とてもいいところだと思います。一部の生徒は多少わがままなところがありますが、全体的にとっても純粋で、素直な子ばかりでした。大人世界に疲れたわたしにとって、今回の触れ合いはたいへん有意義なことだと思います。これからもたくさん参加したいと思います。



### 石迎春 (岸和田北RC)

岬高校で、高校生たちと触れ合って、とてもいい経験をしました。中国の教育制度や、多民族、多言語、一人っ子政策、また、昔からのゲーム、けまりを日本の高校生に紹介しました。日本と違う部分を紹介して、少しでも高校生たちに広い視野を持って、異文化を理解してもらいたいと思いました。中国の歴史や、現在中国の若者の中で流行っているものは何かについて質問してくる高校生もいました。日本の高校生は中国の文化に興味を持っていることに対して、うれしく思います。

### 南泰旭 (橋本RC)

高校に着いて初めて感じたことは、とてもきれいだということでした。青い森とその向こうに見える海。おかげで緊張で重くなっていた心がぐっと軽くなりました。高校を卒業したのもかなり昔だし、また日本の高校生がどんなものか、予想しづらかったのです。期待と共に不安もありました。しかし実際ワークショップが始まったらその不安はすぐに消えました。生徒たちは私の話を興味を持って聞いてくれたし、私も彼らとリラックスして接することができました。これは優しい先生たちのおかげでもあるでしょう。今回のようなワークショップは、生徒たちにとって見識を広げるともよい機会だと思います。こんなイベントがこれからも続くといいと思います。



### 朴宰億 (堺東RC)

ほかの高校ですが、高校卒業してから12年ぶりに高校に行って高校生たちと一緒に話してとても楽しかったです。それとともに韓国の紹介をするときはちゃんと聞いてくれたり、笑顔で質問してくれたりしながら私こそ学んだことがたくさんありました。短かった時間だけ一緒に話した生徒たちの笑顔と昨日の良かった雰囲気が今まで覚えられます。このような機会があっても嬉しいです。



◀ 国際ロータリー2640地区 米山記念奨学委員会 ▶

# 新入会員紹介

9 月



なんの やすお  
**南野 康生**

所属クラブ：羽曳野RC  
職業分類：土木建築請負業  
生年月日：1957年12月18日



わきた ひろゆき  
**脇田 裕行**

所属クラブ：美原RC  
職業分類：不動産賃貸  
生年月日：1948年5月30日



しみず あけみ  
**清水亜稀未**

所属クラブ：堺RC  
職業分類：衣料販売  
生年月日：1946年11月6日



みやもと じゅんじ  
**宮本 淳二**

所属クラブ：堺東RC  
職業分類：生命保険  
生年月日：1962年3月14日



ふじた まさひろ  
**藤田 正弘**

所属クラブ：堺北RC  
職業分類：民事調停委員  
生年月日：1943年1月26日



**沢埜 富二雄**

所属クラブ：堺中RC  
職業分類：飲食業  
生年月日：1945年9月11日



ないとう かずなり  
**内藤 一成**

所属クラブ：和歌山東南RC  
職業分類：歯科医  
生年月日：1953年12月25日

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



かわもり たいぞう  
**河盛 泰三様** (堺RC)

2008年9月22日死去

在籍期間：31年5ヶ月

職業分類：醤油製造

ポールハリスフェロー：

マルチプルポールハリスフェロー 1回

ベネファクター 10回

メモリアルコントリビューター

米山功労者：米山功労者 9回

生年月日：1930年1月17日



とまり しょうご  
**泊 正午様** (粉河RC)

2008年9月24日死去

在籍期間：26年3ヶ月

名誉会員：11年3ヶ月

職業分類：果実協同組合

ポールハリスフェロー：

マルチプル・ポールハリスフェロー

米山功労者：第1回米山功労者

生年月日：1924年12月1日



おがさはら たねつぐ  
**小笠原 胤次様** (泉佐野RC)

2008年9月8日死去

在籍期間：12年8ヶ月

職業分類：美術印刷

ポールハリスフェロー：マルチプル1

米山功労者：第3回マルチプル

生年月日：1945年1月1日

## PHF・ベネファクター（9月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

## 米 山 功 労 者（9月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
岩本 道弘	2	有田	楠本 聖二	2	和歌山東南

# ハイライトよねやま 104号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

++ 今月のトピックス ++



2008年10月10日発行

1. 寄付金速報 — 10月は米山月間 —
2. 米山奨学生が得たもの、生かしたもの  
— 東京RCでフォーラム開催 —
3. 陶芸家の米山学友、張 義明さんが大阪で個展開催
4. 米山のポスター、バナーをご活用ください！

# 文庫通信 (254号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 地区大会記念講演から

- ◎「私の考える経営」 伊藤謙介 (D.2690) 2008 8p
- ◎「構造改革とこれからの日本経済」 竹中平蔵 (D.2660) 2008 8p
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」 藤原正彦 (D.2580) 2008 8p
- ◎「津波が変えた私の人生」 道下俊一 (D.2780) 2008 10p
- ◎「命を地域で支えるあたたかな人と人とのつながりをつくろう」  
鎌田 實 (D.2550) 2007 15p
- ◎「未知への挑戦～箱根駅伝・アテネオリンピックなどを振り返り」  
澤木啓祐 (D.2510) 2008 13p
- ◎「メジャーリーグに学ぶ経営戦略～日本人の知らないメジャーの常識と人づくり」  
タック 川本 (D.2790) 2008 20p
- ◎「薩摩の郷中教育と薩摩焼」 西郷隆文 (D.2690) 2008 16p

[申込先：ロータリー文庫 (コピー) ]

\*\*\*\*\*

- ◎「ロータリーモザイク」ハロルド T.トーマス著 松本兼二郎訳 2006 329P…50年間のロータリーライフに基づき、一人のロータリアン (元 RI 会長) が綴った1905～1970年までのロータリーの思想・方針とプログラム、そしてロータリアンのそれぞれの進化の物語です。彼は「ロータリーはロータリアンすべての参加によって初めて出来たものである」と述べています。本書を一読することにより、全てのロータリアンに与えられているロータリー運動への参加の機会と可能性と期待とがハッキリ認識できるでしょう。

[申込先：ロータリー文庫 領価 1500円]

## ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>



開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

# 第2640地区 出席報告(2008年9月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	9月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	9月出席率	平均出席率
	08.7.1	9月末	9月	累計	9月	累計					08.7.1	9月末	9月	累計	9月	累計			
有田	36	36	0	0	0	0	4	85.27	90.64	大阪金剛	29	30	0	1	0	0	4	90.85	87.40
有田南	33	33	0	0	0	0	4	96.55	97.78	大阪狭山	5	5	0	0	0	0	4	95.00	95.00
有田2000	16	15	0	0	1	1	4	83.65	80.66	りんくう泉佐野	27	28	0	2	0	1	4	72.45	74.97
藤井寺	12	12	0	0	0	0	4	77.00	79.11	堺	79	79	1	1	1	1	4	90.36	88.53
藤井寺しゅら	16	16	0	0	0	0	5	88.80	89.40	堺東	32	33	1	1	0	0	3	97.66	98.11
御坊	53	52	0	0	1	1	4	94.45	94.45	堺北西南西	19	19	0	0	0	0	4	76.46	78.87
御坊東	20	20	0	0	0	0	4	90.00	87.00	堺泉ヶ丘	20	20	0	0	0	0	4	95.00	96.67
御坊南	28	29	0	1	0	0	4	84.26	86.11	堺北	36	38	1	2	0	0	4	85.12	80.46
羽曳野	27	28	1	3	1	2	3	93.40	90.40	堺南	33	32	0	0	0	1	4	83.62	85.73
羽衣	22	22	0	0	0	0	4	85.22	90.14	堺中	26	28	1	2	0	0	4	72.12	71.04
阪南	13	13	0	0	0	0	4	100.0	99.49	堺西	22	23	0	1	0	0	4	89.70	83.78
橋本	54	55	0	1	0	0	4	90.50	92.49	堺おおいずみ	30	30	0	0	0	0	4	85.78	84.41
橋本紀ノ川	20	21	0	1	0	0	4	88.00	90.80	堺フェニクス	22	22	0	0	0	0	4	73.52	78.48
岩出	28	28	0	0	0	0	4	93.75	95.62	堺清陵	24	24	0	0	0	0	4	90.48	94.18
和泉	39	41	0	2	0	0	4	84.56	85.48	堺泉北	10	10	0	0	0	0	4	89.29	86.30
和泉南	33	33	0	0	0	0	4	62.13	63.98	堺東南	12	13	0	1	0	0	4	87.50	87.69
泉大津	50	51	0	1	0	0	4	80.44	81.73	泉南	18	19	0	1	0	0	4	88.24	87.58
泉佐野	37	37	0	1	1	1	4	90.24	87.79	新宮	57	57	0	1	0	1	4	87.59	87.45
海南	45	44	0	0	0	1	4	65.25	70.03	白浜	15	15	0	0	0	0	4	100.0	98.29
海南東	68	68	0	0	0	0	4	80.23	80.48	忠岡	13	13	0	0	0	0	4	63.64	65.46
海南西	22	22	0	0	0	0	4	86.81	87.52	太子	9	9	0	0	0	0	4	87.50	85.00
貝塚	19	18	0	0	1	1	4	94.44	93.08	高石	29	29	0	0	0	0	4	67.00	67.00
貝塚コスモス	21	21	0	0	0	0	4	89.29	86.11	高師浜	20	20	0	0	0	0	4	89.47	87.37
関西国際空港	32	32	0	0	0	0	4	67.74	67.24	田辺	87	87	0	0	0	0	4	88.46	90.23
河内長野	29	30	0	1	0	0	4	80.80	82.10	田辺はまゆう	36	38	0	2	0	0	4	77.63	78.70
河内長野東	27	28	0	1	0	0	4	86.20	88.58	田辺東	50	49	0	0	0	1	4	81.91	87.29
岸和田	51	49	0	1	1	3	4	82.07	79.37	富田林	34	34	0	0	0	0	4	82.69	83.33
岸和田東	54	53	0	0	1	1	3	95.03	93.19	富田林南	21	21	0	0	0	0	4	80.26	79.85
岸和田北	27	27	0	0	0	0	4	100.0	100.0	和歌山	75	75	0	1	0	1	4	85.00	85.83
岸和田南	21	22	0	1	0	0	4	95.45	94.17	和歌山アゼリア	42	43	0	1	0	0	4	87.78	86.33
粉河	19	19	0	0	0	0	4	97.37	96.53	和歌山東	55	56	0	1	0	0	4	98.95	99.31
高野山	22	23	0	1	0	0	4	95.00	96.25	和歌山城南	38	39	0	2	0	1	3	93.33	91.53
串本	9	10	0	2	0	1	4	72.50	74.70	和歌山北	49	49	0	0	0	0	4	76.85	74.81
松原	36	36	0	0	0	0	3	91.30	90.22	和歌山南	86	86	0	1	0	1	4	90.41	88.23
松原中	25	26	0	1	0	0	4	75.95	75.71	和歌山中	28	28	0	0	0	0	4	72.62	79.36
美原	26	26	1	1	0	1	4	86.20	85.40	和歌山西	22	22	0	0	0	0	3	95.45	95.45
那智勝浦	20	21	0	1	0	0	4	76.25	78.86	和歌山東南	37	41	1	4	0	0	4	89.75	90.30

クラブ	7月1日クラブ会員数				9月末クラブ会員数				9月平均出席率	入会		退会	
	男性	2229	女性	128	男性	2249	女性	132		9月	累計	9月	累計
74	2357				2381				85.75	7	45	8	21

## 11月 ローターリー財団月間 (The Rotary Foundation Month)

1日	(土)	第2回財団奨学生オリエンテーション ローターアクト海外研修	テクスピア大阪 韓国(予定)
2日	(日)	↓	
3日	(月)	↓	
4日	(火)		
5日	(水)		
6日	(木)	公式訪問: 堺泉北・堺東南RC(夜)	サンパレス
7日	(金)		
8日	(土)	I.M.7 組 2009~10年度青少年交換長期受け入れ学生対象の東京見学会(8-9日)	テクスピア大阪
9日	(日)	↓ インターアクト国際交流親睦会 09-10年度 第1回ガバナー補佐会議	羽衣学園・清風南海高校 紀州南部ロイヤルホテル
10日	(月)	↓	
11日	(火)		
12日	(水)		
13日	(木)	公式訪問: 和泉・和泉南・泉大津・忠岡RC(夜)	うお健
14日	(金)		
15日	(土)	I.M.4 組	橋本カントリークラブ内
16日	(日)	クラブ研修リーダー会議 ローターアクト 2640 地区・2660 地区交流会(ホスト: 2640 地区)	テクスピア大阪4F
17日	(月)		
18日	(火)		
19日	(水)	ロータリー研究会(19~22日)	東京台場
20日	(木)	↓	
21日	(金)	↓	
22日	(土)	↓ 岸和田南RC創立10周年記念式典	岸和田グランドホール
23日	(日)	インターアクト海外研修オリエンテーション	堺女子・飛翔館高校
24日	(月)		
25日	(火)		
26日	(水)		
27日	(木)		
28日	(金)		
29日	(土)	第3回諮問委員会 ホテルグランヴィア和歌山	
30日	(日)	2009~2010年度長期派遣学生への申請書記入指導	県民文化会館 3F特設



### 国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

勤 務 時 間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦

事 務 職 員 山本千恵子 平田有紀子